

様式第十三(第五十八条第四項関係)

要措置区域台帳

町田市

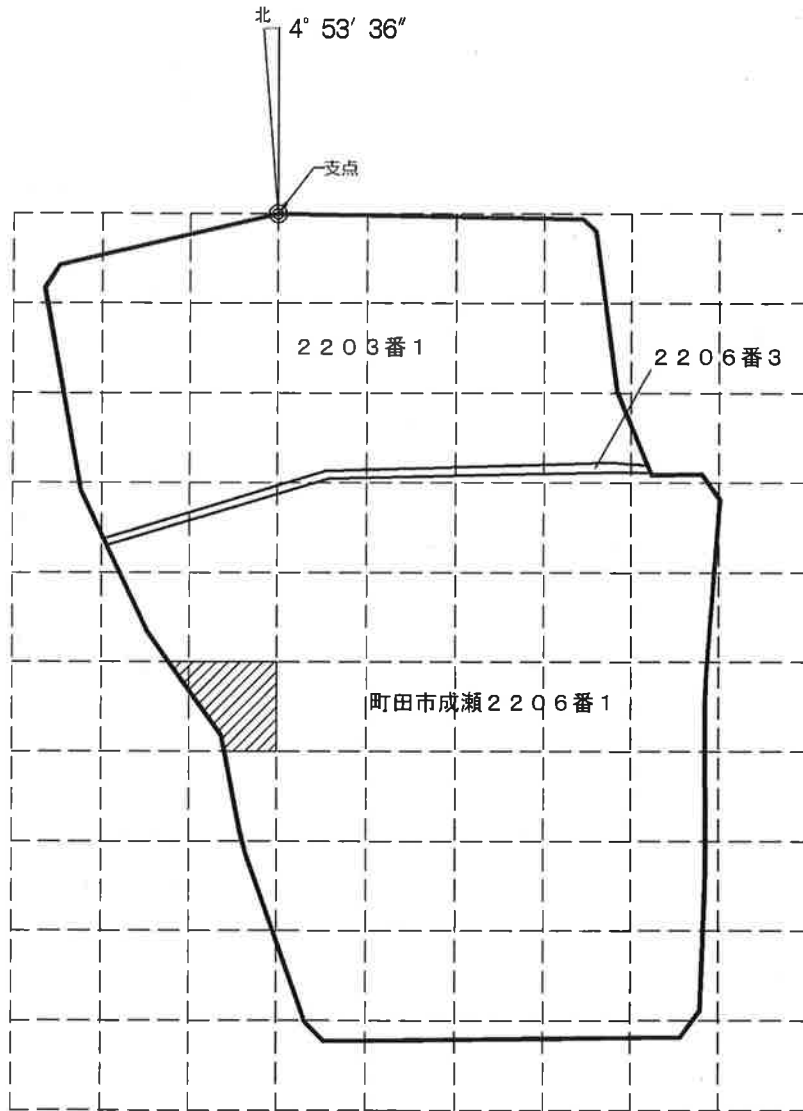
整理番号	整-26-1	指定年月日・指定番号	2014年6月13日・要-3	所在地	町田市成瀬2206番1の一部	
調製・訂正年月日	2014年6月13日調製(新規指定)					
要措置区域の概況	事業場敷地			面積	87.86㎡	
地下水汚染の有無(土壌溶出量基準不適合の場合)				有・ <b>無</b>		
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあつては、その旨				法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域である。		
試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあつては、その旨及び当該省略の理由						
要措置区域内の 土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	2014年6月10日	鉛及びその化合物		含有量基準・ <b>溶出量基準</b> ・第二溶出量基準		株式会社オオスミ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変 更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

【整理番号】整-26-1  
【指定番号】要-3

【資料採取日】2014年3月28日(詳細調査2014年4月21日)  
【分析方法】ICP質量分析法  
【指定基準に適合しない特定有害物質】  
鉛及びその化合物



【凡例】

- 単位区画線
- 筆境界
- ▭ 土地区画形質の変更範囲
- ▨ 要措置区域

【支点】

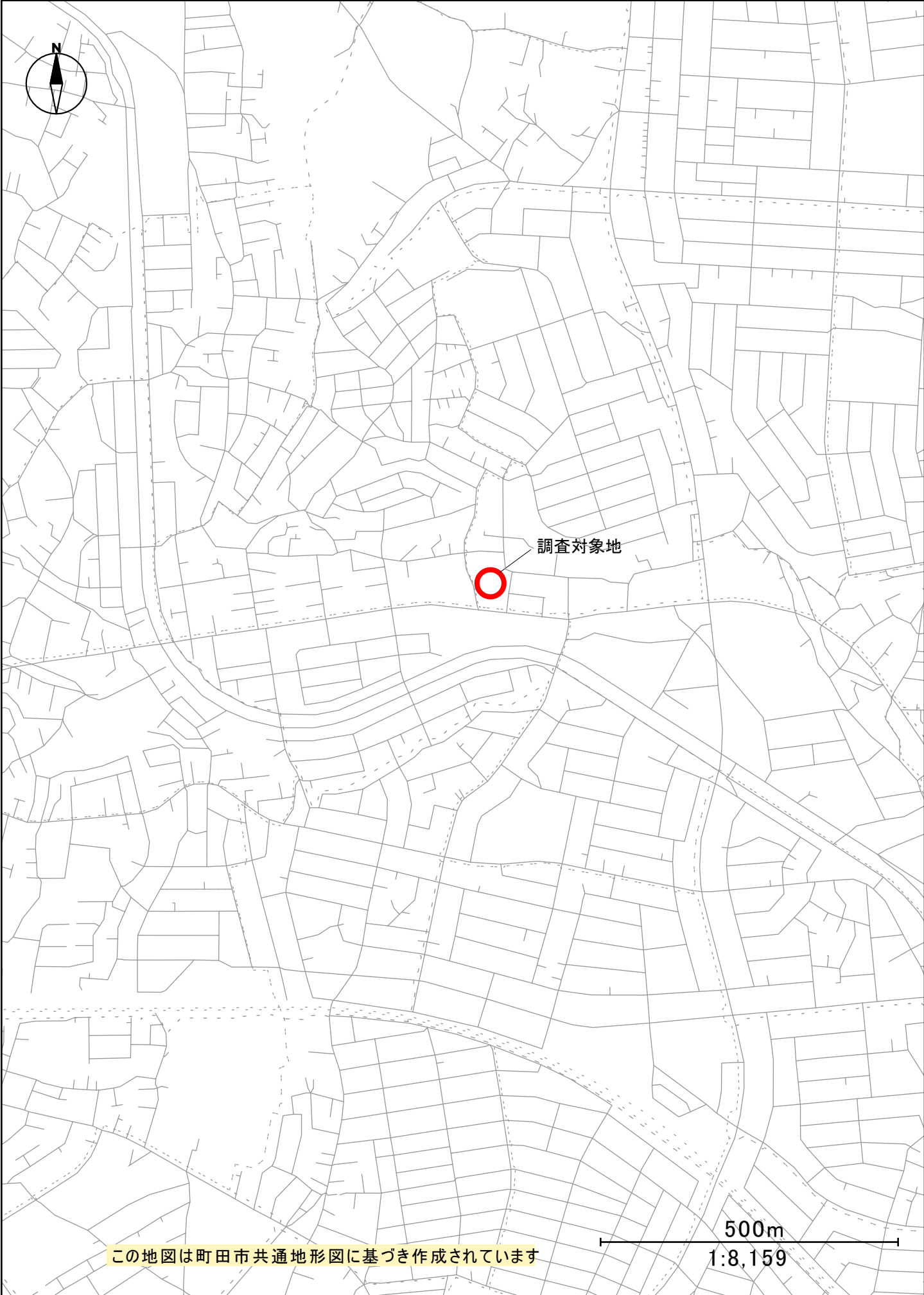
支点は、町田市成瀬2203番1の最北端とする。

【申請に係る土地の面積】

87.86㎡

【格子の回転角度（4度53分36秒）】

格子の回転角度は、支点を通り、東西方向及び南北方向に引いた線並びにこれらと並行して10m間隔で引いた線により構成されている格子を、支点を中心として右回りに回転させた角度を示す。

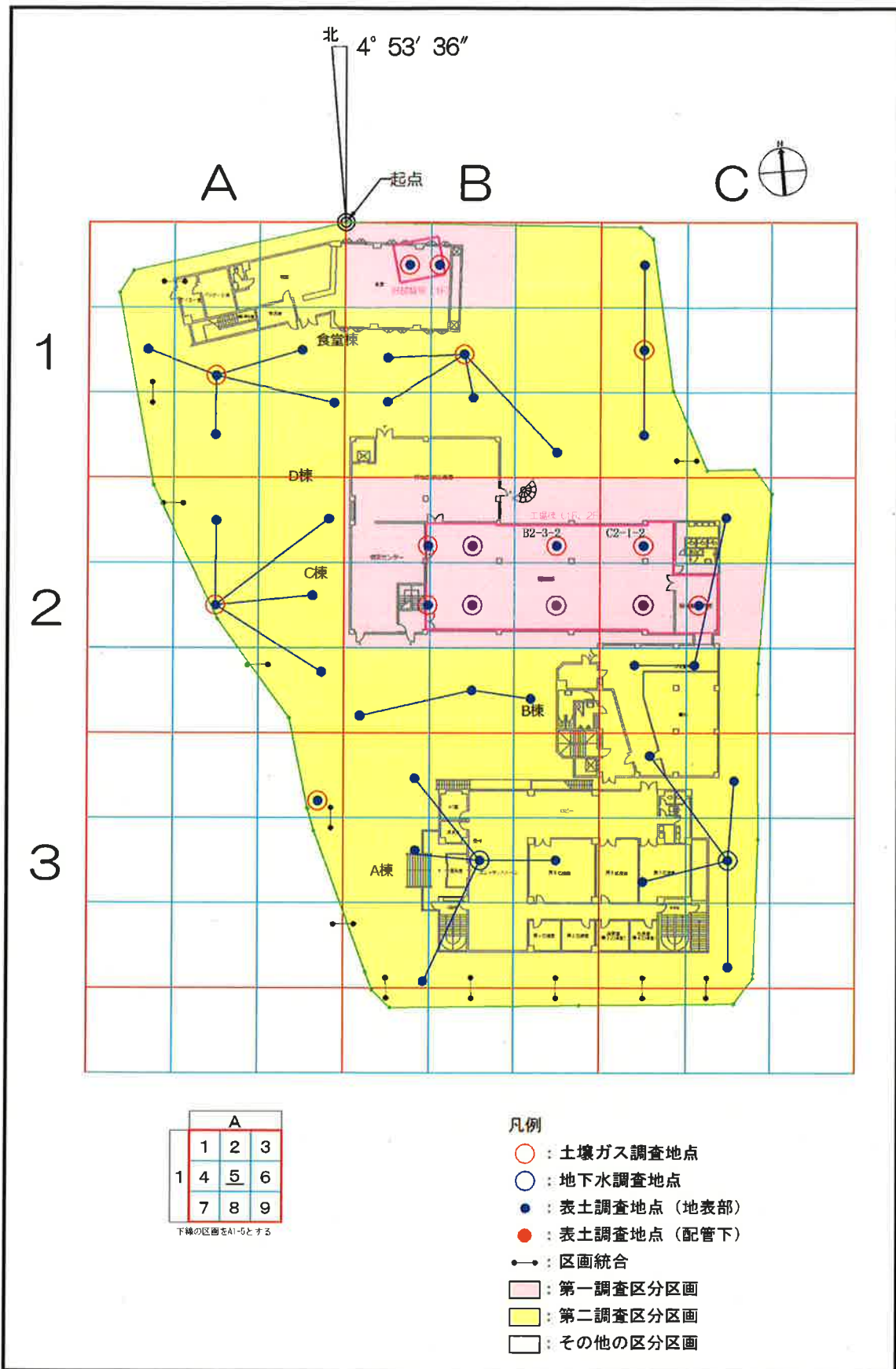


調査対象地

500m

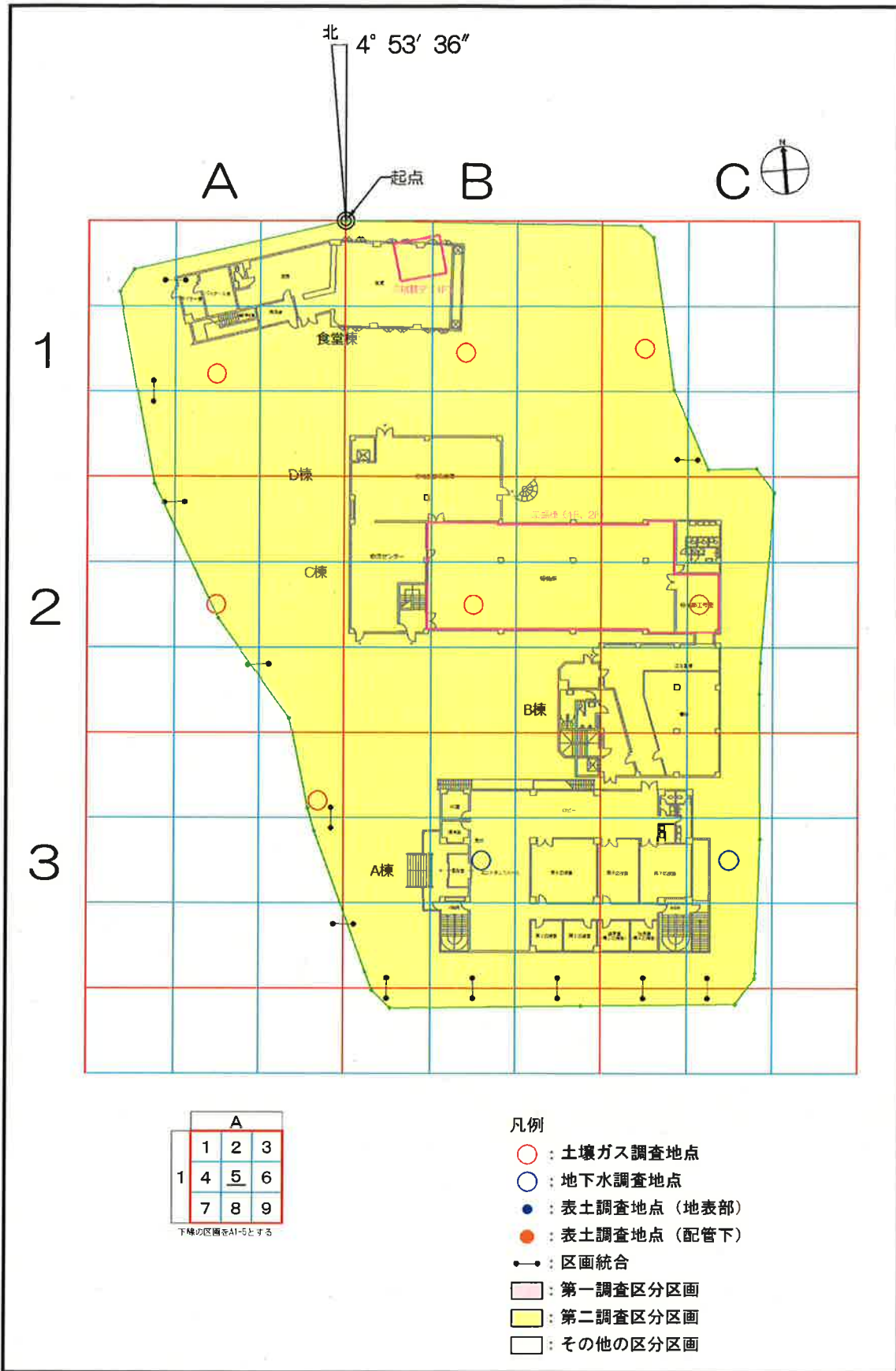
1:8,159

この地図は町田市共通地形図に基づき作成されています



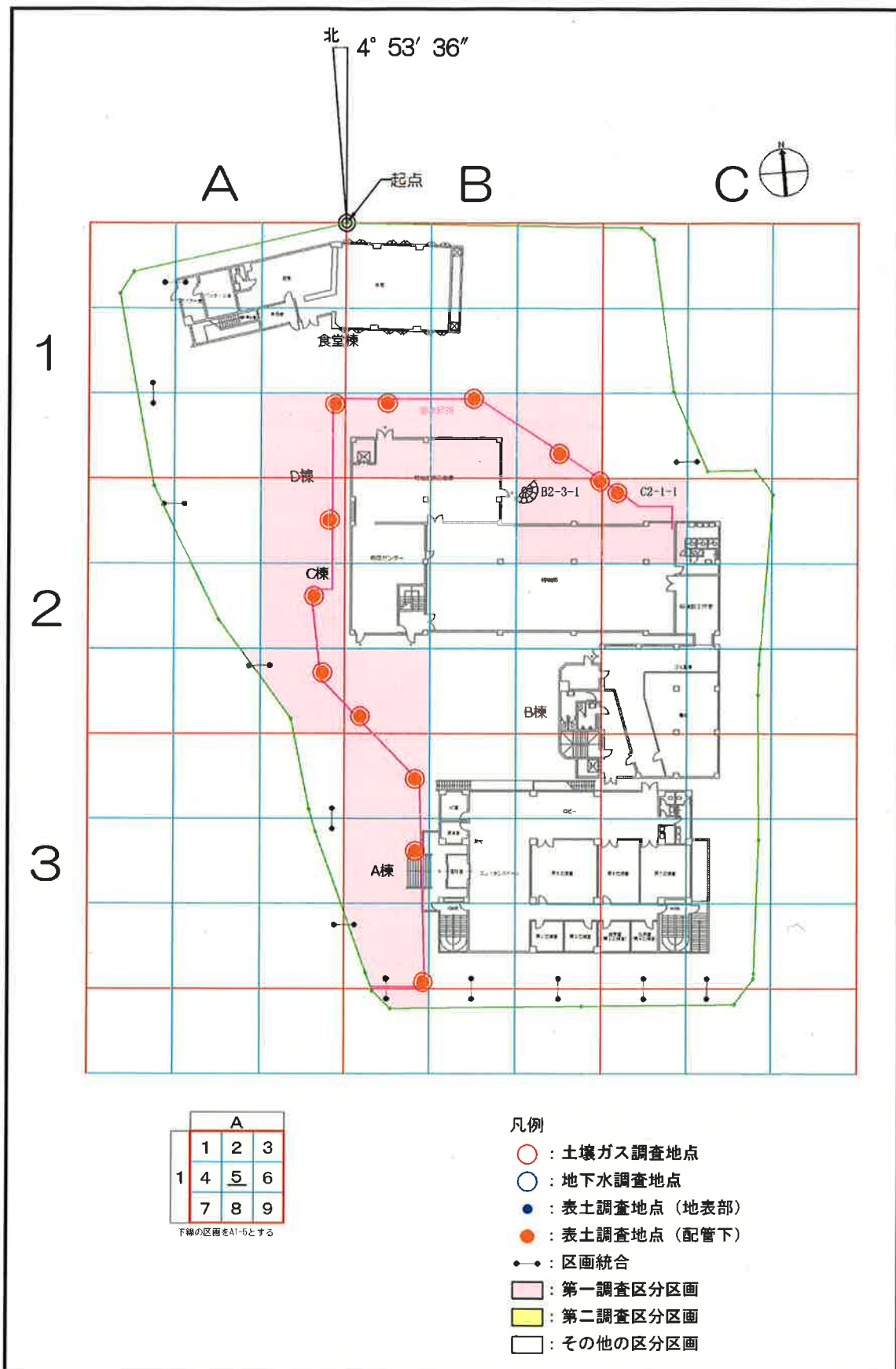
調査地点図 (現地盤面)

(トリクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物)



調査地点図 (現地盤面)

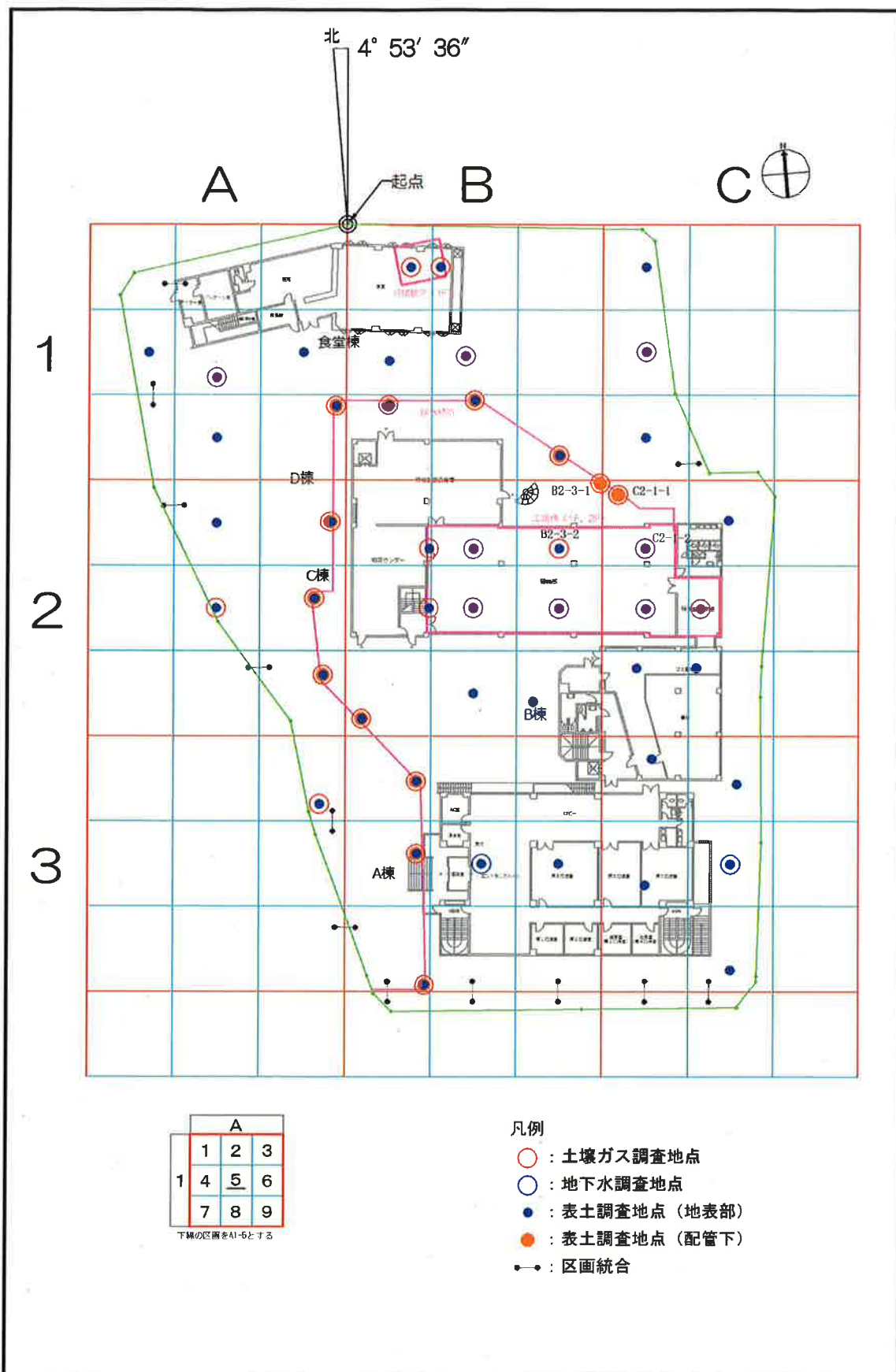
(ベンゼン)



調査地点図 (排水配管下)

(トリクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物)






土壤採取地点総括図


土壤分析結果（第二種有害物質）

深度	調査地点	A2-9
	分析項目	土壤溶出量試験 (mg/l)
		鉛及びその化合物
-1.3~-1.8m (概況調査結果)		0.014
-2.0m		0.010
-3.0m		0.005 未満
汚染土壤処理基準		0.01 以下

 : 基準超過を表す。

地下水分析結果（第二種有害物質）

調査地点	分析項目	地下水試験 (mg/l)
		鉛及びその化合物
A2-9		0.005 未満
地下水基準		0.01 以下

 は基準超過を表す。